

介護人材確保に向けた取組状況について

1 現状・課題

●介護職人材の需給推計

団塊の世代の人がすべて75歳以上となる2025年（平成37年）には全国で37万7千人の介護職員人材が不足見込みであり（厚生労働省）、本市にあてはめると約4千人となる。また、平成28年2月に介護保険施設を対象として実施した「介護人材確保・定着に関するアンケート」結果でも約8割の施設が不足と回答している。

●介護職を取り巻く環境

- ・離職状況 介護職 16.5%（全産業 15.0%）
※H27「雇用動向調査」、H27「介護労働実態調査」より
- ・平均給与 介護職 約22万円（全産業 約32万円）
※H27「賃金構造基本統計調査」より

2 国の取組み

●人材確保対策

潜在介護人材の呼び戻し

離職した介護人材の届出システムの構築
再就職準備金の貸付（20万円×1回限り）※2年勤務で返済免除

新規参入促進

介護福祉士を目指す学生への学費貸付（80万円/年×2年）※5年勤務で返済免除
学校の生徒に対する介護の仕事の理解促進や職場体験

離職防止・定着促進

介護職員処遇改善加算の拡充（月額1万円相当）
介護ロボット・ICTの活用促進、行政が求める帳票等の文書量半減

●財源措置

都道府県に設置された「地域医療介護総合確保基金」等を活用

3 本市における取組み

●千葉県地域医療介護総合確保基金を活用した取組み

(1) 介護職員初任者研修受講者支援事業

①事業概要

市内の介護施設等で介護職として3か月以上就業することを条件に、受講費用の半額（上限5万円）を助成する。

②実績

	26年度	27年度	28年度	29年度
予算措置	100	100	150	100
助成者数	54	86	33	

※28年度は平成29年3月1日現在

③平成29年度の見直し

資格取得を重視する制度へシフトするため、3か月以上の就業要件を撤廃

(2) 介護人材合同就職説明会

①事業概要

市内介護事業所と介護施設へ就職を希望する求職者のマッチングを行う。

②実績

平成27年度	3月23日実施	求人24事業者	求職者48人
平成28年度	3月21日実施予定	求人40事業者	

(3) 介護キャラバン隊（児童・生徒向け介護普及啓発）

①事業概要

市内の学校を訪問して要介護状態の疑似体験学習を行い、介護の仕事を知るきっかけづくりとする。

②平成29年度の実施

平成27年度から県の事業として実施しているが、平成29年度から市町村事業へ移行するとの意向が示され、市として予算化（30校分）

●介護ロボットの普及に向けた取組み

(1) 介護ロボット導入促進事業補助金の活用

①事業概要

介護従事者の負担軽減や業務の効率化のために介護ロボットを導入する場合に、その費用の全部または一部を補助するもの。

※当初は1事業所につき3,000千円を補助上限とされていたが、希望する事業所数が多かったことから1法人1事業所に限定され、1事業所あたり927千円とされた。

②導入実績

77事業所（約70,000千円）	
（内訳）移乗支援ロボット	20事業所
移動支援ロボット	6事業所
見守り支援ロボット	51事業所

(2) 装着型ロボット貸出事業【新規】

①事業概要

装着型ロボットスーツを市が購入し、希望する介護事業者に数か月ずつ貸し出すことにより、介護ロボットの普及を促し、介護職の離職防止につなげる。

（購入台数）	2台
（予算額）	7,232千円

●外国人人材の活用

(1) EPA（経済連携協定）による外国人介護職員受入状況

	26年度	27年度	28年度
受入施設数	1	3	3
受入者数	2	7	6

(2) 支援への取組み

国際交流協会や市老人福祉施設協議会、国際協力団体などと連携を図り、外国人職員に対し、日本語の学習支援や生活相談を行うほか、慣れない環境での気分転換を目的として、国際協力団体による映画や街歩きの同行等、生活面でのサポートに努める。